

全窒素・全りん、硝酸+亜硝酸、亜硝酸、アンモニア、りん酸

全窒素・全りんのオートクレーブ分解も自動で行えます！！

- 連続オートクレーブ分解加熱槽を用いることにより全窒素・全りんの全自動測定ができます。
- 連続オートクレーブ分解は、JIS K 0102と同様に120度30分です。全窒素はアルカリペルオキシ二硫酸カリウムで分解され、全りんは、ペルオキシ二硫酸カリウムで分解されます。
- 連続オートクレーブ分解は、全窒素、全りん別々のチューブで同時に行われます。
- サンプル中のSS成分は、サンプラー8型に装着された超音波ホモジナイザーにより吸引前に粉砕されます。

※オプションの自動希釈機能を装備しますと、分析終了後サンプルを吸引し、ホモジナイズし、流れの中で希釈し、再測定が自動で行われます。

※オプションで、全窒素、全りんの分析カートリッジを使い、硝酸+亜硝酸、亜硝酸、アンモニア、りん酸を測定できます。

全窒素:JIS K 0170-3 (JIS K 0102 45.6)	6.3.4.1 ペルオキシ二硫酸カリウム分解・紫外検出CFA法
	6.3.5.1 ペルオキシ二硫酸カリウム分解・カドミウム還元吸光光度CFA法
全りん:JIS K 0170-4 (JIS K 0102 46.3.4)	7.3.5.1 酸化分解前処理モリブデン青発色CFA法

基本機器の構成例

【全窒素は紫外検出CFA法】
【全りんはモリブデン青発色CFA法】
SYNCA 1ch TNTP+UV

サンプラー8 (80本掛け)
コンプレッサー
超音波ホモジナイザーおよび専用台
UV計
分析コンソール 1台(全りん用)
分析ソフト
分解加熱槽
パソコンおよびプリンター
※オートシャットダウンと超音波ホモジナイザー防音箱はオプションです。

【全窒素は紫外検出CFA法】
【カドミウム還元吸光光度CFA法】
【全りんはモリブデン青発色CFA法】
SYNCA 2ch TNTP+UV

サンプラー8(80本掛け)
コンプレッサー
超音波ホモジナイザーおよび専用台
UV計
分析コンソール2台(各全窒素、全りん用)
分析ソフト
分解加熱槽
パソコンおよびプリンター
※オートシャットダウンと超音波ホモジナイザー防音箱はオプションです。



SYNCA 2ch TNTP+UV+ オートシャットダウン